

KSKQ あかねニュース No.58

川西市障害者共働作業所あかね

〒666-0017 川西市火打1-5-19

Tel&Fax 072-755-4101

ホームページ akanesan.net

E-mail: rassyai-akane@deluxe.ocn.ne.jp

ルールは、ルール?!

東京のある有名な私立の女子
中学で本当にあった話です。

名前は仮にA子・B子・C子と
しましょう。三人は同じクラスで
家も近く大の仲良しです。

明日はみんなが待ちに待った
修学旅行。いまだきの私立中学に
しては質素?に行き先は関西。往
復新幹線利用の四泊五日です。

前日、生徒を前にして女性の校
長先生は言いました。

「皆さん明日は絶対に遅刻をし
てはいけません。もし百二十人の
中の一人でも五分遅れたら、合わ
せて六百分、十時間も無駄に費や
されることになるのですよ。一分
でも遅れた生徒は、旅行には連れ
て行きません。分かりましたね。」
生徒たちの中には「こわ〜」と

顔を見合わせるものもいました
が、一応納得して帰りました。

さて当日、A・B・C子の三人
は、私鉄の同じ駅から待ち合わせ
て乗りました。充分余裕を持って
乗ったので、早朝ラッシュの前の
こと車内はすいていました。

次の駅からD子が乗ってきま
した。D子は仲良し三人とグルー
プを組むほど仲良くありません
が、D子を交えて四人のおしゃべ
りが弾むうちに、どうしたことか
C子の具合がおかしくなりまし
た。冷や汗が出て顔も真っ青で
す。

「どうしよう?」とりあえず席
を譲ってもらい掛けさせたもの
の、いつこうに回復の気配はあり
ません。A子とB子は決心して

次の停車駅でC子を連れて電車
を降りました。D子はごめんねと
言いながらそのまま学校へ・・・
A子が駅員に頼んでC子の家
に電話連絡をとり、家族に事情を
話してその駅まで急遽来てもら
うことに・・・

やっこのことで、C子の母親が
駆けつけまだ青い顔のC子(彼女
はこの時点で修学旅行はギブア
ップ)を引き継ぐまでには、一時
間近くが経過してしまいました。
余裕を見て出かけたつもりが、
集合時刻に間に合うかどうかも
微妙に・・・。二人は電車の中を
走りたいような気持ちで学校へ
急ぎました。

二人が学校へ到着したときは、
集合時刻を五分ほどオーバーし
ていました。

そしてバスは非情にも東京駅
へ向かって出発したあとでした。
もちろん間に合ったD子も乗せ。

毎日発行

一九九一年九月三日 第三種郵便物認可

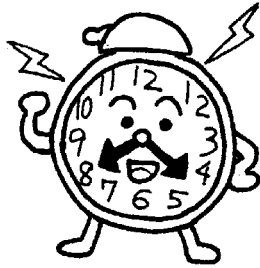
頒価

定価 一〇〇円

二人はみんなを見送ったばかりの校長先生に、遅刻した経緯を話しました。

そして、タクシーで東京駅へみんなを追っかけるから、何とか連れて行ってくださいと懇願しました。

でも校長先生はきつぱりといいました。「あなたたちがしたことは立派なことです。でも、ルールはルールなのよ。昨日言ったとおり。気の毒ですが、旅行に連れて行くことは出来ません。」



私は、その学校へ姪御さんを通わせている知人から、この話を聞かされたとき、この出来事が生徒やその親たちの知るところとなった時点で、校長先生のとった判断

に対して、凄まじい糾弾の嵐が吹き荒れたに違いないと思いました。

なんとというむごい仕打ちなんだろう？

「その校長先生は、保護者の突き上げに遭って、辞職させられたんじゃないの？」

私の問いかけに対する彼の答えは、驚くべきものでした。

「とんでもない。本人たちの両親も含めて他の保護者からも、いっさい批判めいた声は出なかったそうさ。むしろ、校長の毅然とした態度を賞賛する声すら上がったらしい・・・。芳川！、最近の世の中の判断基準は、そんなもんなんだよ。ルール至上主義、ルールはルールというやつ。あなたもそのへんをちゃんと認識しておかないと！」

そうか、それが今日の世の中の『常識』なのか？！・・・寒々とした気分になりながら、それでもまだ半信半疑でした。本当に、誰も校長先生の判断に疑問を持たなかったのか？

処分は覆しようがないとしても、今後、同様なケースが発生したときのために、

例外的な救済策を設けることについて、PTAで検討してみよう、などという声すら出なかったのか？・・・

もちろん、スポーツその他、ルール準拠を貫くことが必要な世界もあるでしょう。『ルール』を『法律』と読み替えば、なおさらのことです。

しかし、ルール等は人の手で創ったものであり、そこに内蔵されていた不具合が、露呈するような事例が出てきたら、やはり、「人の手で」改めるなり、例外規定を付け加えたりすることは出来ないのでしょうか？

皆さんは、どのように考えられますか？今年も残り少なくなりました。『あかね』にも、わずか一年の間に何年分もの、いろいろな出来事がありました。思い出したいもの、悲喜こもごも、いやおうなしに記憶に残る年となりました。皆様の叱咤激励を肝に銘じ、温かいご支援に感謝しつつ、あかね一同それぞれに年を重ねます。皆様も良いお年を！

芳川 雅美

『ナカちゃん』(中谷さん)の 自立生活がはじまりました!

昨年、お母さん(すでにお父さんも)を亡くし、その後、母方の妹さん(叔母さん)と二人暮らしだったナカちゃん。

今度は、叔母さんとも別れて、いよいよあかねの人たちと、自立生活に入りました。(十一月二十日から)

いずれ他のあかねのメンバーたちも、ナカちゃんの後に続くことになるでしょう。何事もはじめの第一歩を踏み出すときは、不安がいっぱいで清水の舞台から飛び降りるようなもの。

勇気を振り絞って出発する・・・ナカちゃんの心境ではないでしょうか。

親たちも高齢化してきました。親亡き後どうなるの?

それは障害者だけの問題ではなく、共に支えあって生きるやさしさ・豊かさ・強さのお手本になるような自立生活になれば、

と願っています。

一口に自立生活といっても、月々金曜日の昼間は作業所へ出勤します。

夜の介護の問題・土日の過ごし方・介護者の割り振り等々、時間的・物理的な問題と経済的な問題両面から自立を考えなければなりません。



「あかね」としても、はじめての試みで、今後どのような問題が起こってくるのか、不安な面もありますが、何はともあれ十一月三十日から、彼女の新しい生活がはじま

りました。

この間、直接関わってくださるヘルパーさん(十数名)たちと、ミーティングを重ねて引越しの準備も進めました。

「あかねはうす」二階の彼女の部屋には、新しいピンクのカーテン・電燈・暖房機・寝具・・・などなど新しいものに取り替えられました。

女の子(?)の夢につつまれた、周りの人たちの温かい気持ちのこもった生活空間ができました。

障害者一名の自立生活には、特に、泊まり介護には制度の支援はありません。

自前の有償ボランティアで進めていかなければなりません。

十一月三十日、ナカちゃんの引越しと、それを祝うパーティーが、あかねはうすでぎやかに行なわれました。

集まってくれた人たちと昼食をともにし、手作りのパンとお寿司、そしてお茶で乾杯。

不安そうな顔のナカちゃんも少しずつ笑顔に変わっていきました。(↓続く)

ヘルパーのNさんは早速「ナカちゃんの生活支援金をつくろう」と、「このカバン三百円で買ってよ」「ちよつとずつでもお金を作っていこう」・・・

頼もしい一声ではありませんか。みんなでナカちゃんの自立へ向けて、動きがはじまりました。

お金で人の命は買えないけれど、お金があれば、人の命を救うことが出来ます。

一人の命を担ぐことは重いことだけれど、みんなで取り組めば大丈夫！

この事業を継続・発展させていくために皆様の温かいご支援をお願いいたします。

(追伸)

ナカちゃんの自立生活の窮状をエキスパートアライアンス株式会社社長さんに訴えましたところ、特例ということで、五十万円の寄付を頂きました。心から厚く御礼申し上げますと共に、皆様にご報告申し上げます。

一人の障害をもった人が、地域の方々に守られながら人間らしく生きていく姿を、出来る限り、あかねニュースを通して、

お伝えしていくつもりです。

そして、支援して下さった方々に、「応援してよかった」と喜んでいただけるような実践にしていきたいと思っています。

血のつながりはなくても、『あかねの家族』として、守り、守られて生きていく社会をめざして！
富田 啓子

寄付金・カンパ・助成金のご報告とお礼

(2008年6月～12月)

6/26 西田様 9/9 緑台老人センター一同様

10/9 比屋根様 10/26 松井酒販様

**カレンダー購入に添えてのカンパも沢山頂いています。次号にてご報告させていただきます。ありがとうございました！

お願いします！

ナカちゃん自立生活のための

ヘルパーを！

具体的には、泊まり介護18時より翌朝9時まで、ささやかながら有償のボランティアとして。また、土日祝日、昼間のガイドヘルパーが不足しています。あなたの応援をお待ちしています。

09年版あかねオリジナルカレ

ンダー販売中！

作業所メンバーの地域での自立に向けた活動のための資金づくりのため、今年も一本千円で販売しています。残本が多く苦戦しています。ご購入まだの方々、一本でも助かりますので、宜しくお願いします。お電話・メール下されば、何本でも郵送料二百円にてお送りします。

08あかねまつりレポート

今年、『出直し!あかねまつり』という事で、三弾、連続企画で実施しました。

第一弾 十月十九日

映画「こんちくしょう」

上映会と講演

(中央公民館にて)

障害者の自立生活について、理解も制度もなかった70年代。自らの人生を切り拓いていった当事者の言葉を綴った「こんちくしょう」の上映会、三十九名の方が参加してくださいました。

映画を作った福永さんにも、きていただき上映後、お話しもしていただきました。三人の身体障害者の語りで、かつての障害者運動を振り返った内容に対して、新鮮さを感じた人、懐かしさを覚えた人、様々だったようで、上映後の座談会では、いろいろな意見が

出されました。脳性まひという障害がありながら、一人暮らしを自分のことは自分で決めていこうとする思いや苦勞・障害者とその親兄弟との関係性・知的障害者の自立・自己決定の困難さ・・・等々。

文字通り身を賭して『当たり前暮らし』を目指した福永さんや三人の出演者のメッセージを受けとめた一日でした。

安住の地

「最近の障害者は(またはその介護者・支援者は)甘い。かつては何もないところから権利や制度を獲得すべく、運動してきた。今の障害者は(又は介護者は)そうして創った制度に安住して暮らし、闘っていない」とする気概がない。」

障害者運動の大先輩方からしばしば指摘される。そのつど僕は「おっしゃる通りです。」と平伏すわけだが、よしっ、では闘おうと顔を上げたたん、目指すべき道が霧に覆われてしまう。

もちろん現実的課題は山積みで、何をしたらイイのか分からないのではなく、むしろ何からすればいいのかというくらい。

作業所が赤字だ、売上げどうする、メンバーが不調、原因を考えよう、親亡き後はどうするよ、そもそも一人の市民として尊重されているか?

自立?成長?就労?自己決定?

作業所の売上げを伸ばす為に障害者メンバーの暮らしや人格をナオザリにしてしまうこともあって、自分の本末転倒ぶりに落胆してしまおう。

こんちくしょうに描かれる闘う姿。いわく、「貧乏だったけど、あの頃は生きるのが本当に楽しかった・・・」

ゆっくりと吐き出すように語られる言葉は重い。いわく、「俺たちの話を聞け、こつちを向け、こんちくしょう・・・つてね」言葉の意味とは裏腹に、その響きは優しく尊い。障害があっても自分らしく生きるにはどういふことか?おこがましくもそれを支えるとはどういうことか?「共に生きる」とは可能か?映画の中に答えはない。が、闘うことは目的でなく手段であり、闘うべきは外になく自分の中にあることを思い知らされる。

安倍 日出夫

毎日発行

一九九一年九月三日

第三種郵便物認可

頒価

定価

一〇〇円

**第二弾 十月二十六日
あかね元氣寄席 林家染二独演会**

川西市商工会館

映画会とは打って変わって、「みんなであつて元氣を出していこう」という目的で、サポーターの有雅(ありが)さんの紹介で実現しました。

落語ブームといわれる昨今ですが、チケット販売開始直後は「落語は初めて!」「いままで何となく敬遠してた・・」という声が多く、心配したのですが、当日、百二十名ほどの方が会場を一杯にしました。

「めっちゃめっちゃ面白かった」
「会場が一体になって笑うのが気持ちよかったです」

「自然と話に引き込まれた。ジーンとする場面もあった。プロやなあ」

師匠には、あかねはうすでの懇親会にも残っていただき、気さくにお話してください。お人柄に、参加した人たちは再び、感動を口にしていました。あかね元氣寄席二回目。是非やりましょう。

内海 謹一

毎日発行

一九九一年九月三日

第三種郵便物認可

頒価

定価 一〇〇円

**あかねほうすでの懇親会
中央・ピースサインが 染二師匠**



**第三弾 十一月三日
バザー・フリマ・模擬店・ジャズ演奏
手作りおもちゃなど あかね前P**



作業所前駐車場でやったのでサポーターさんに交通安全も担当してもらいました!

「いつもありがとうございます!」
毎年欠かさずバザーに来るおばちゃん。
「今日は、なんかいいのあるかな?」
「どんな食べ物でてるの?」
「チャンチャン焼き!変わったもの出てるね」

と、酔いどれながら言ってくるいつものおじさん。・・・などなど、皆さんから声をかけていただきながら始まる、年に一度のあかねまつり。

この祭でしか顔を会わすことがない方も、きつちり来てくださる、あかねまつり。川西の街で、少しずつ定着してきているのかな?バザーには、よつば連絡会のみなさんやボランティアのみなさんにも出店していただき、賑やかに終えることができました。これからも地域のみなさんとふれあう機会をどんどん増やしていくので、よろしく願います。 渡邊 誠

今年、市役所前広場が事情があり使えず、かつ、三弾企画ということで、あかねまつりを催しました。「なかなか良かったなあ」という声も多く自己満足??

がんばる地域の中学生へ 十一月十日～十四日 川西南中学校実施分 トライやるウィークを終えて(お礼・感想文)

毎年、六月と十一月市内の中学生のトライやるウィークを受け入れさせてもらっています。うちのメンバーたちが卒業した中学の「先輩」となつての一週間。いつも新鮮です。今回初めて生徒さんの文章を紹介させていただきます。

拝啓、十一月十日～十一月十四日までの一週間、お世話になり、ありがとうございます。

私は将来、介護福祉士になりたいと思っています。だから、この体験は夢に近づき第一歩だと考えています。

「あかね」では介護にはあんまり関係してないけれど、いろんな人と出会って、ふれあうことが出来ました。

また、自立しようと、みんなが望み働いていました。その姿はすごく印象深かったです。あと、イベントなどにも、出来るだ

け参加していきたくと思っています。

その時には、「あかね」の人たちが笑顔になってくれるように、精一杯手伝ってきたいです。本当に一週間ありがとうございました。 敬具 (長谷川 真美)

拝啓、トライやるウィーク期間では大変お世話になり、ありがとうございます。私は、トライやるウィークをとおして、大変さや、楽しさ、いろんなことを学べました。

お弁当の配達に行ったり、「ぼど」情報誌を配ったりと、人にモノを届けることができ楽しかったです。

他にはむずかしかかったけれど、クッキーの袋詰めも楽しく出来てよかったです。最終日に食べたあかね弁当はおいしくて、本当にうれしかったです。

お世話になった一週間は、一生忘れられ

ない思い出になりました。

また、それを生かして大人になったら、そういう仕事につきたいなとも思いました。

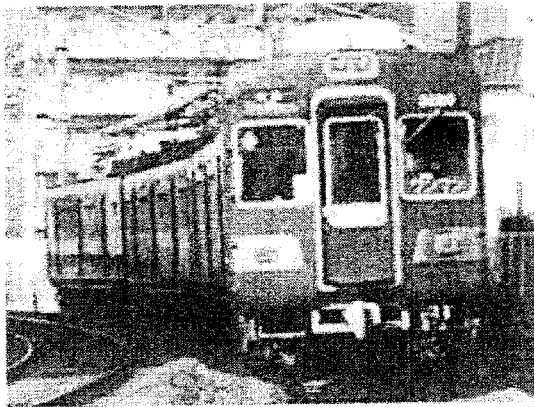
これからもっともつと寒くなりますが、お体に気をつけてがんばって行ってください。 敬具 (杉江 奈々)

拝啓、先日はトライやるウィークで大変お世話になり、どうもありがとうございました。私が「あかね」で一週間の思い出に残っていることは、『雰囲気』です。毎日にぎやかで、とつても楽しくて、充実している毎日でした。

みなさん話しやすい人ばかりでとてもよかったです。それに、仕事にとつてもやりがいを感じて楽しく出来ました。トライやるが終わってからはとても寂しかったです。またお手伝いできることがあれば、いつでも呼んでください。この一週間の思い出は私の大切な思い出です。絶対忘れません。(中略)有難うございました。敬具 (西口 結美)

あかねの地域パートナー紹介 ⑤

能勢電鉄(のせでん)さん



川西の街で、通勤・通学・行楽の足を担って、ちょうど百年を迎えた能勢電さん。先日も、盛大に百周年を記念したイベント、能勢電レールウェイフェスタが平野駅で行なわれました。

あかねも常々、平野駅改札口にて弁当

販売やイベント出店などでお世話になっています。あかねのメンバーにも鉄道ファンが多く、模擬店の仕事を兼ねてイベントを楽しみにしており、販売そっちのけでイベントに気持ち移っていたり・・・？お陰で春・秋と毎年盛況に販売をさせていただいております。

毎年來られる鉄道ファンの方からも「あかねさんのカレー旨いから、あとで寄るわ」と声かけられたり、メンバーと一緒に鉄道談義に花を咲かせている姿を見て、いろんな場面で人とのつながりは出来るもんだなあと・・・

「あかねの夢」にもちよくちよく來られ、豪勢に？飲食してくださいます。そんな折能勢電さんから良く聞く話は、「あかねなどの地域の活性化が鉄道の活性化に、鉄道を幹に、いろんな花が咲くことを願う」と。

渡邊 誠

編集後記

今年一年も左記の通り、沢山の行事イベント・出店をとりおこなうことができました。作業所メンバー・スタッフだけでは到底成しえなかつたことで、皆さんのお陰です。そういった皆さんとの輪を深め抜ける通信となるよう今後も努力してまいります。皆さんには、良いお年を！

- 1 / 6 餅つき会 2 / 3 巻き寿司販売 2 / 9 陽明小バザ
- ー 出店 2 / 11 彫刻の森マラソン参加 2 / 14 バレン
- ティンチヨコ販売 3 / 9 重誼の会出演 3 / 23 妙見山
- ハイキング 4 / 6 粉もん会 4 / 13 芦屋マラソン参加
- 4 / 20 千刈バーベキュー 4 / 27 万博バザー出店 4
- ／ 29 筍掘りツアー 5 / 6 はうす二十周年パーティー
- 5 / 24 能勢電レールウェイフェスタ 6 / 1 日生教会
- バザー出店 6 / 17 明峰高文化祭出店 7 / 5、6 あか
- ねバス旅行 7 / 26、8 / 10 夏祭り納涼祭八箇所出
- 店 8 / 6、8 徳島キャンプ 8 / 30 サポーター慰労会
- 9 / 28 芋掘りツアー 10 / 19 あかね映画会 10 /
- 26 あかね元氣寄席 11 / 2 能勢電まつり出店 11 /
- 3 あかねバザー 11 / 23 一庫マラソン出店参加 12
- ／ 25 クリスマス会 12・26 忘年会 新年作業所は
- 1月5日から始業！

毎日発行 一九九一年九月三日 第三種郵便物認可 頒価 定価 一〇〇円